

## NPO法人メイアイヘルプユニース会報

「いよいよ、全国評価機関を対象としたセミナーを実施します」

代表 新津ふみ子

第20号の会報で、事業者が第三者評価を受審しない要因として、受審費用の割高感があるのではないかと、見解を書きました。それを裏づける調査結果が報告されたので紹介します。

出典は、「福祉サービスの質向上に向けた、現行の第三者評価、苦情処理スキームについての調査研究事業」第三者評価・苦情解決実態調査報告書です。平成20年度厚生労働省社会福祉推進事業として、株式会社インテグレックスが実施しています。第三者評価事業に関する初めての報告書といえます。

この報告書による調査研究の要旨では、現状の第三者評価は、受審率は都道府県格差が大きく、全国的に見ても十分普及しているとはいえず、「個々の事業者が事業運営における問題点を把握し、サービスの質の向上に結び付けること」という制度導入の目的に照らして機能しているとは言えない。これに対して、事業者が(第三者評価を)利用した際の質の点では、実際に受審した事業所の概ね8割が第三者評価に満足し、評価結果がサービスの改善や職員の自覚向上に活用され、制度に対する現場の肯定的な声がアンケート記述回答でも数多く見られ、十分に機能しているといえると報告しています。一方受審が促進されない背景としては、都道府県別の受審率の格差に見られる都道府県による対応の違い、待機者が多いといった需給バランスによる事業者の受審意向への影響、受審費用の負担が重いなど、事業者にとっての経済的要因などが存在する。…中略。ヒト・モノ・カネ全ての面で余裕がない事業者もあり、多くの事業所にとって受審費用(概ね20～30万円)は大きな負担感があるものと考えられると報告しています。

また、受審費用の負担についてアンケートの結果を報告していますが、受審の負担については、受審事業者の8割が第三者評価の負担は効果に比して妥当であると回答しているのに対し、受審費用の費用対効果についての肯定的な回答は5割強に止まり、受審費用に対する不満があるものと考えられると分析しています。(右図表参照)

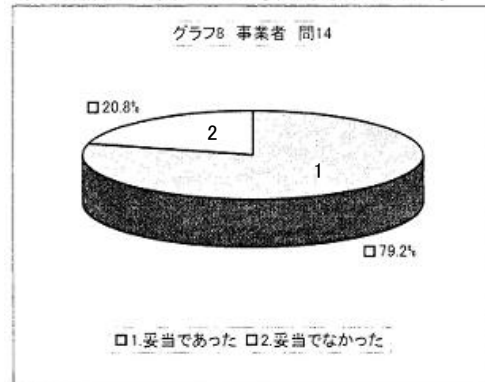
そして、事業者・評価機関アンケートでは、今後の改善点に関する記述をみると、受審費用軽減や、受審への補助・メリットの付与に関する改善点が最も多くあげられていると報告しています。

確かに評価機関の努力のみでは、受審を拡大させることは無理であるとは思いますが、評価機関として、本当に努力をしているのかという問いかけをしたいと思います。受審した事業者から費用対効果についての肯定的な回答が5割では低すぎるといえます。

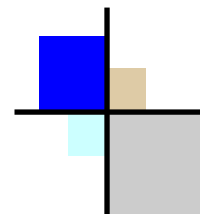
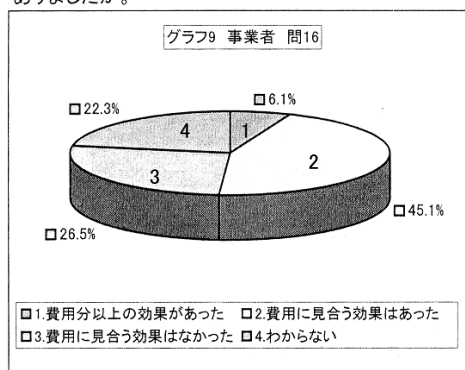
そこでいよいよ、全国の評価機関の質の向上、その充実に向けて研修会を実施します。

日時は平成21年9月5日(土)、当法人の10周年記念セミナーの同じ日の午前中です。当法人が事務局です。評価調査者資格のある会員で参加を希望する方は事務局へお申込ください。

問14 第三者評価の受審に際し、貴事業所の負担は第三者評価の効果に比して妥当なものでしたか。



問16 第三者評価は、かかった費用に照らして効果がありましたか。



# 「10周年記念セミナー」のお知らせ

## 「10周年記念セミナー」

当法人の10周年記念行事に関するお知らせです。現在の時点で決定しておりますことを、取り急ぎお知らせいたします。大変ご多忙の折とは存じますが、9月5日、万障お繰り合わせのうえご参加くださいますようお願い申し上げます。以下に記念行事の内容をお示しいたします。

- ◆記念講演：「利用者の権利に関する現代的課題～歴史的変遷を踏まえて」（仮題）  
講師—若穂井 透（日本社会福祉事業大学教授、弁護士）
- ◆活動報告：宮崎県高原町における介護保険適正化事業に対する取組み  
報告者—中村 みどり（地域包括支援センター 保健師）
- ◆シンポジウム：「第三者評価から見える福祉サービス事業者が取り組んでいる利用者本位の活動とは」  
シンポジスト：第三者評価を実施している3箇所の事業所を予定  
（NPO法人メイアイヘルプユー、株式会社、社会福祉法人）
- ◆日 時：9月5日（土） 13時30分～17時30分まで
- ◆場 所：全国社会福祉協議会会議室（千代田区霞ヶ関3-3-2 新霞が関ビル）
- ◆参加費：無料
- ※ 対象者は、法人会員、関係者、その他（関心を持つ方どなたでも）
- ※ セミナー終了後、懇親会を行う予定（5,000円程度の会費になる予定）

### 定例勉強会報告

介護サービス情報公表について

北村とし子

6月29日（月）、夕方6時過ぎから定例の勉強会が開かれた。参加者は話し手の私を含めて10人。介護サービスの情報公表制度は、介護保険の理念でもある利用者の「自己選択」「自己決定」を実現すべくサービス選択に資する情報提供をと開始されてから今年で4年目。勉強会では、制度の目的や仕組み、所期の目的が果たされそうもない現実を含めての課題などが話し合われた。公表制度の調査を受ける側の会員からは「受け手の立場」として生の発言が聞かれたりで大いに盛り上がった。当初から情報開示の対象となる介護サービス事業所の反発、批判は予測され、その不満の多くは公表を義務化しつつ費用は事業所が負担するという仕組みにあるようだ。そのような事業所の声を反映し、費用は毎年減額し、今年度からは、調査員も2名以上とされていたのが1名以上で良しとなった。調査内容も縮小される。効率化を図り事業所負担を減らすことが目的であるが、制度開始以来、調査員を続けてきた私には、それはそれで問題があるような気がしている。

以上の予定で企画しました。現在事務局はその準備として10周年の記念誌の作成に取り組んでおります。

会場の定員等から、会員以外の方々への呼びかけの範囲を検討したく存じますので、会員の皆様には7月30日（木）までに、10周年記念セミナーへ参加、また懇親会への参加のご都合をメールまたはFAXでお知らせくださいますようお願い申し上げます。

#### 編集後記

この度の会報は10周年記念に関するお知らせが主になり、いつもの会報と大幅に違っております。事務局は現在その準備で台風のような状態です。9月5日皆様にお会いできることを楽しみにしております。

鳥海房枝

〒141-0031 東京都品川区西五反田2-31-9

シーバード五反田401

TEL:03-3494-9033 FAX:03-3494-9032

E-mailアドレス: [meiai@smile.ocn.ne.jp](mailto:meiai@smile.ocn.ne.jp)

HPアドレス : [www12.ocn.ne.jp/~meiai](http://www12.ocn.ne.jp/~meiai)

# 「福祉サービス第三者評価事業・評価調査者研修会」のお知らせ

## 「福祉サービス第三者評価事業・評価調査者研修会」

評価機関の責任として、評価の質の向上を課題とし、研修会を計画しました。

福祉サービスの第三者評価の本格実施に取り組んだのは、平成16年ですが、受審率をみると東京都を除いて、平成18年から動き出したといえます。しかし受審率は芳しくない状況です。一方、受審した事業者においては、第三者評価はサービスの質向上の上で効果があると答えており、制度自体の実効性を評価しています（報告書「福祉サービスの質の向上に向けた、現行の第三者評価、苦情処理スキームについての調査研究」平成20年度、株式会社インテグレックス）。また、評価機関・評価調査者である私たちは、評価の意味と価値を十分に感じており、是非とも受審率を上げ、現場のサービスの質の向上に寄与したいと強く思っています。

そこで、評価機関の取り組みの実際と工夫について情報交換し、評価実績を伸ばすこと及び評価調査者の能力の向上に資するため研修会を企画しました。

全国第三者評価機関連絡協議会（仮称） 設立呼びかけ人代表 新津ふみ子  
（評価機関：メイアイヘルプユー代表理事）

### <研修会の内容>

◆講演：「病院評価の取り組みと課題」

講師一菅原 浩幸氏

（財団法人 日本医療機能評価機構、企画室長兼事業推進部長）

◆評価機関からの報告：評価実績の多い評価機関4事業者からの報告

◆グループワーク

◆日時：平成21年9月5日、9時から12時30分。

◆場所：全国社会福祉協議会会議室（東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル）

◆参加費：2,000円（資料代）

<主催> 全国第三者評価機関連絡協議会（仮称）呼びかけ人

※ 参加者は、第三者評価実績のある評価調査者で、自分が実施した評価結果をもって参加できる人に限る。

※ 会場の定員等の関係上、当法人の会員（評価調査者）の参加申し込みは、7月30日（木）までにメールかFAXで事務局までお願いします。



〒141-0031 東京都品川区西五反田2-31-9

シーバード五反田401

TEL:03-3494-9033 FAX:03-3494-9032

E-mailアドレス: [meiai@smile.ocn.ne.jp](mailto:meiai@smile.ocn.ne.jp)

HPアドレス : [www12.ocn.ne.jp/~meiai](http://www12.ocn.ne.jp/~meiai)

